

かぎとしよ！

2025.10
都立科学技術高校
図書館



☆☆読書週間に向けて☆☆



10/27～11/9は全国的に読書週間となります。図書館では中間考査後に、四葉祭で図書委員会が作成した『理科読のすすめ』冊子版の配布などを予定しています。じっくり冊子を読み、新しい本に出会ってください。また館内ではビブリオバトル校内大会で発表された本を展示しています。みなさんの読書活動の成果が、さらに多くの生徒の読書のきっかけになれば嬉しいです。

2025・第79回 読書週間

10/27～11/9

こころとあたまの、
深呼吸。



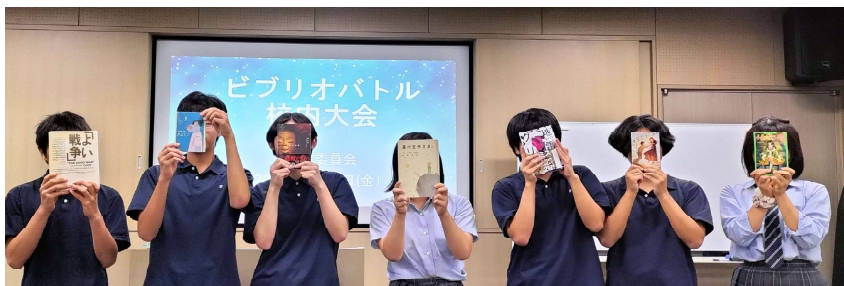
ビブリオバトル校内大会開催！

9月19日、図書委員会主催のビブリオバトル校内大会が開催されました(発表者7名、聴衆者30名)。発表者は、本の面白さを堂々と熱くプレゼンしており、どれも素晴らしかったです。質疑応答で、さらに思いが深く伝わってきました。投票の結果、決選投票を制しチャンプ本になったのは…、『地雷グリコ』(2年Sくん)でした！ Sくんは10月に開催される東京都大会に出場します。参加者のみなさん、ありがとうございました。

発表者のみなさん、熱いプレゼンをありがとうございました！

ビブリオバトル発表本紹介！

- 『よい戦争』スタッズ・ターケル著 晶文社
- 『きよしこ』重松清著 新潮社
- 『シャドーコリドー影の回廊』阿久津著 KADOKAWA
- 『星の王子さま』サン＝テグジュペリ作 岩波書店
- 『サマーゴースト』乙ー著 集英社
- 『地雷グリコ』青崎有吾著 KADOKAWA
- 『小公女』バーネット著 KADOKAWA (発表順)



今月の新着図書Pickup！

『マスカレード・ライフ』東野圭吾
集英社

ホテルコルテシアで小説の選考会が開催されることになったが、候補者の作家はある事件の重要参考人となっていた。主人公の新田は警察を辞め、ホテルの専属保安課長に転職。お客様に安全を守り、事件を未然に防げるか？人気のマスカレードシリーズ第5弾！

『ことばにできない宇宙のふしぎ』エラ・フランス・サンダーズ創元社

電子の動きは「何にも触れられない」。レイリー散乱による現象は「私は青のある所にいるよ」。自然界の科学的な事象をドラマチックな物語のように解説している本で、イラストも素敵です。同じ著書による『誰も知らない世界のことわざ』も、同じように、世界を美しい言葉で描いていておすすめです。

AI活用本！

『ぼくたちはChatGPTをどう使うか』
『Copilotの基本が学べる教科書』

ある日私がAIに本の相談をしてみると、AIはおすすめ本を数冊提案してくれました。その本を書店のサイトで調べると、なんとそれはこの世に存在しない本だったのです！(タイトルなどを自動生成した?) その後、これらの本を読み、私の質問はAIには不適切だったことがわかりました。AIの使い方を考えるための本、ぜひ読んでみてください。